

外来化学療法を受けられる患者様へ (こんなときは病院に連絡しましょう)

化学療法後には好中球減少、血小板減少、貧血、消化器症状の嘔吐、下痢などが予測されます。
下記のような場合は早めの受診・相談をお勧めします。

< こんなとき >

- 38℃以上の発熱が抗菌薬を服用しても3日以上持続し解熱しない。または抗菌薬がない
- 体のだるさが強い
- 頭痛や意識が薄れる
- 吐き気・嘔吐があり、食事・水分が摂れない。飲水しても嘔吐してしまう
- 息切れ、息苦しい、動悸、胸部症状
- 水様性の下痢が一日6-7回以上続く。止痢剤を使用しても止まらない
- 強い腹痛がある。
- 点滴を外したあとの痛みや皮膚の変化、ポート部の針や携帯型ポンプの異常がある

< 時間内の受診方法・連絡先 >

- 診察受付時間 平日 8時30分～11時00分 担当の外来へ連絡し受診
- 11時以降は総合受付で電話で相談されてください

平日・17時まで → 医療センター 代表 0966-63-2101

担当外来か外来化学療法センターへ電話をお取り次ぎいたします。

< 時間外の連絡先 >

休日・時間外 → 医療センター 代表 0966-63-2101

保安が電話にでます。「救急外来へまわしてください」と伝え、救急外来看護師へ症状をつたえましょう

24時間に対応していますので上記のような症状があれば我慢せず連絡してください。

受診されるときは診察券をご用意されマスク着用で受診されてください。